

Writing Scientific Papers in English for Students of Agro-Bioresources Science and Technology

生物資源科学のための英語論文の書き方

(筑波大学)

授業科目名	生物資源科学のための英語論文の書き方
科目番号	01ER106
単位数	1 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 AB 月 5
担当教員	山岡裕一
授業概要	食料安全保障に関する科学論文を英文で書くために必要な基礎事項、例えば論文の構成、適切な表現方法、図表の作り方、雑誌のエディターとのコミュニケーション方法について、社会科学的な側面も含めて学習する。各回の講義では、背景、材料と方法、図表、結果、議論、要旨と引用文献、口頭発表、投稿プロセスについて具体的な事例と共に学習する。
備考	英語で授業
授業形態	講義
教育目標との関連	多国籍間での科学コミュニケーションの基本となる科学英語を論文執筆方法を通じて学習する。特に食料に興味のある学生に修得が求められる汎用的知識・能力、特に、専門知識・能力を活用する語学力を習得する。
授業の達成目標	科学ジャーナルに掲載される論文の基本的な構造と、どのようにそれぞれのセクションの内容をまとめるかを理解する。また、科学論文の図や表として良いものの作成の仕方、口頭発表の仕方も理解する。
授業計画	科学論文を書くために必要な基礎事項について、論文の構成、適切な表現方法、図表の作り方、雑誌エディターとのコミュニケーションについて講義する。 1. 論文執筆の概要と一般的な執筆テクニック 2. 導入の書き方 -1 3. 導入の書き方 -2 4. 材料と方法の書き方 5. 科学的なモデル図、データ図や表の書き方 6. 結果の書き方 7. 議論の書き方 8. 要旨の書き方と引用文献の取り入れ方 9. 科学的プレゼンテーション 10. 論文の投稿・リバイス・出版のプロセス
履修条件	生物資源農学のバックグラウンドを持つ学生向け
成績評価方法（割合・評価基準・提出期限等）	授業中の積極性（質疑応答状況等）（50%）と期末試験（50%）で評価する。評価は、A+（きわめて優秀）、A（優秀）、B（到達目標を達成している）、C（到達目標を最低限達成している）、D（到達目標を達成していない）で評価する。
授業外における学習方法	授業で学習した内容と、自身の学習分野の論文とを比較しながら講義への予習と復習を行う。
教材・参考文献・配付資料等	自身の研究分野のジャーナルに掲載された論文を各自準備のこと
オフィスアワー	担当教員： 山岡裕一 電子メール： yamaoka.yuichi.gp@u.tsukuba.ac.jp 学生は事前に問い合わせのこと
その他（学生に望むこと等）	
関連科目	医学英語
キーワード	論文作成、書き方、論文投稿